



札幌市立陵北中学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

「クレオメ」(今年の図書委員会の活動スロガン)

クレオメという花の花言葉である「秘密のひととき」のように、読書をすることで良いひとときを過ごし、息抜きができるような場所を作っていく。

■皆が大切な一冊に出会うために

- ・購入希望図書の生徒リクエストの実施、予約システム、放課後も開館
- ・長期貸出(夏休み・冬休み前)の実施、カタログブックフェアの開催
- ・図書委員企画「陵北中夏祭」「ホンマツリ」開催
- 図書の分類をわかりやすくする工夫
- ・棚見出しの作成、禁帯出、郷土資料、絵本、古典、職業等は別置シールの装備
- 「図書館だより」での案内

- ・開館日の案内、新着図書や寄贈本、図書委員企画イベントやおすめの本の紹介

■特設コーナー

- ・新着図書と準新着図書、課題図書等を背表紙のシールで色分けして管理
- ・図書委員が選書しPOPやポスターを作成してお薦めの本を展示

- ・ハコニワ図書コーナーの展示、館内や廊下の掲示板等に季節感を出し工夫した展示や装飾



学習センターとしての機能

総合的な学習の時間のサポート

2020年度より本校では、学校祭を「総合的な学習の時間の発表会」としています。昨年度よりステージ部門、展示部門、プレゼンテーション部門に分かれて生徒たちが学級の枠を超えたグループで協力し合い、発表することによって学校全体で取り組んでいます。

図書館では、この中で調べ学習に対応するために学年ごとに特設コーナーを設置し、部門テーマに関連した図書を図書委員を中心に選書し、展示しました。本校になかった図書に関しては道立図書館の協力貸出制度を利用して、各部門テーマに合わせてサポートしました。

このほか、1年生国語科授業や支援学級において図書の利用や日本十進分類法についてのオリエンテーションを行ったり、合唱交流会に合わせて各学年の発表曲、校歌の楽譜や音楽関連の本の展示をしました。



情報センターとしての機能

進路、タイムリーな話題

本校の図書館には、「なるにはBOOKS」、「なるにはBOOKS 大学学部シリーズ」、「キャリア教育に活きる！仕事ファイルシリーズ」等に加えて「なるにはBOOKS 高校調べシリーズ」が配架され、2学年総合の職業調べや生徒が進路を考えるうえで役に立っています。

